
HP Client Automation

新機能およびリリース ノート

ソフトウェア バージョン:7.5 マルチリンガル版 (2009 年 10 月)

このドキュメントは、HP Client Automation (HPCA) 製品スイート 7.5 マルチリンガル版の変更点の概要を説明します。HPCA 7.50 英語版のローカライズ版 (2009 年 5 月) への参照もあります。

このリリースでは新機能はありません。変更点は、ローカライズのサポートと問題点の修正のみです。このドキュメントでは、HPCA 7.50 英語版から変更のないセクションでは、HPCA 7.50 英語版リリース ノートを参照しています。実質的な変更点については、「[機能強化と既知の問題](#)」を参照してください。

- [このバージョンについて](#)
- [ドキュメントの更新](#)
- [ソフトウェアとハードウェアの要件](#)
- [インストールに関する注意事項](#)
- [移行に関する注意事項](#)
- [機能強化と既知の問題](#)
 - [解決済みの問題点](#)
 - [既知の問題](#)
- [サポート](#)
- [法定の通知](#)

このバージョンについて

- HPCA Starter Edition、Standard Edition、および Enterprise Edition について、日本語版、簡体中国語版、ドイツ語版、フランス語版、イタリア語版、スペイン語版、ポルトガル語 (ブラジル) 版があります。HPCA Enterprise Edition では、韓国語版は用意していません。
- いくつかの問題点の修正を「[機能強化と既知の問題](#)」に記述しました。

7.50 リリースで導入されたすべての新機能を知るには、7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください。

ドキュメントの更新

このドキュメントの最初のページには、次の識別情報が含まれています。

- バージョン番号。ソフトウェアのバージョンを示します。
- 発効日。このドキュメントが更新されるごとに変わります。

HP Software 製品マニュアルの Web サイトで、最新のバージョンのリリース ノートを使用しているか、また製品マニュアルやヘルプ ファイルが更新されているかを常に確認してください。この Web サイトでは、HP Passport ID とパスワードが必要となります。お持ちでない場合は、次のサイトから登録することができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport サインイン ページの **[New users - please register]** のリンクをクリックしてください。

HP Passport ID とパスワードを取得したら、次のサイトへ移動します。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

- 1 [製品] リストから、製品名 (例: Client Automation) をスクロールしてクリックします。
- 2 [製品バージョン] リストから、バージョン番号をスクロールしてクリックします。
- 3 [オペレーティング システム] リストから、オペレーティング システムをスクロールしてクリックします。
- 4 [(省略可能): キーワード、フレーズを入力してください] ボックスに検索用語を入力することができますが、これは必須ではありません
- 5 検索オプションとして、[自然言語]、[キーワード全部]、[キーワードのどれか]、[完全一致/エラー メッセージ] のいずれかを選択します。
- 6 並べ替えのオプションとして、[適合率]、[日付]、[表題] のいずれかを選択します。
- 7 入力した検索条件を満たすドキュメントの一覧が表示されます。
- 8 言語によってドキュメントをフィルタリングすることができます。**[言語を選択: 英語]** の隣にある下向きの矢印をクリックします。ドロップダウン リストから別の言語を選択します。
- 9 ドキュメントを PDF 形式で表示する場合は、そのドキュメントの PDF ファイル名をクリックします。

注意:PDF 形式 (*.pdf) でファイルを表示するには、お使いのシステムに Adobe® Acrobat® Reader がインストールされている必要があります。Adobe Acrobat Reader をダウンロードするには、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.adobe.com>.

7.50 でのドキュメント ライブラリの変更

7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください。

ソフトウェアとハードウェアの要件

7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください。

インストールに関する注意事項

7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください。

移行に関する注意事項

7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください。

機能強化と既知の問題

このセクションでは、7.5 マルチリンガル版で導入された問題点の修正と既知の問題の一覧を示します。

7.50 英語版で導入されたすべての新機能と、まだ解決していない問題点を知るには 7.50 英語版の『HPCA Enterprise リリース ノート』または『HPCA Starter および Standard リリース ノート』を参照してください (7.50 英語版で、問題点として一覧表示されていて、解決済みのマークがないものは、未解決の問題です。)

解決済みの問題点

| コンポーネント | エディション | 説明 |
|--|-------------------------------------|--|
| Application Manager および Application Self-service Manager | Starter、 Standard、 Enterprise | Application Self-service Manager はスペイン語版があります。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | HPCA Enterprise コンソールからの Enterprise Manager Live Network コネクタのダウンロードが、ダウンロード URL の新しいデフォルト設定のため失敗することはなくなりました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | 適用状況管理ダッシュボードで、ツールチップの文字列が表示されない現象はもう発生しません。これらの文字列はメッセージ カタログに配置されました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | レポート エラーを示すのにローカライズされた文字列が使用されるようになりました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | 12 か月のサービス イベント、および 12 か月のクライアント接続グラフは、正しく表示されます。この問題は、適切なメッセージ カタログを含めることで解決しました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | Apache Tomcat は、複数の脆弱性の問題に対応するために、バージョン 6.0.20 にアップグレードされました。 |

| コンポーネント | エディション | 説明 |
|-------------------------|-----------------------------|--|
| Enterprise Manager | Enterprise | エグゼクティブ ダッシュボードのフィルタ条件の文字列 [なし] は、ハードコードではなくなりました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | エージェントを配布するときのタスクの要約で、簡体中国語の日付形式が正しく表示されるようになりました。 |
| Enterprise Manager | Enterprise | Essentials Network では HP Passport の認証を使用していますが、HPCA Live Network アナウンスメント ダッシュボードの修正は不要になりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Standard、Enterprise | HPCA コンソールの日付フィールドに表示されることがあった「null」という値は表示されなくなりました。空白のフィールドが表示されます。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | Satellite ログイン ページでハード コードされていた英語の文字列が、翻訳されてメッセージカタログに登録されました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | 脆弱性ダッシュボードで、ローカライズ メッセージが、テキストではなく、文字列 ID で表示されることはなくなりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | オペレーション ダッシュボードでの文字列のフォーマットが正しく表示されるようになりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | ローカライズ環境で、日付形式が正しく表示されるようになりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | HPCA コンソールの [ダッシュボード]、[管理]、[レポート]、[オペレーション]、および [設定] タブのパネルでローカライズされた文字列が表示されるようになりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Starter、Standard | HPCA コンソールからの「電源オン」コマンドで CE シン クライアントに対する Wake On LAN (WOL) が実行できるようになりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Starter、Standard | SSL モードでのパフォーマンスの低下は発生しなくなりました。リスナーで正しくない URL を使用していた問題が修正されました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | 日付形式とジョブ スケジュールの説明はローカライズされました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | ポルトガル語 (ブラジル) 版システムのインストール ウィザードがローカライズされました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | 漢字がはっきりと見えるように、インストール ウィザードのフォントが大きくなりました。 |
| HPCA Core および Satellite | Enterprise | 漢字がはっきりと見えるように、インストール ウィザードのフォントが大きくなりました。[QCCR1C29614 と重複] |
| HPCA Core:OOBM | Starter、Standard、Enterprise | OOBM を実行する場合に、Broadcom DASH ファームウェアに対するテキスト コンソール リダイレクション (TCR) が正常に動作するようになりました。 |
| HPCA Core:OOBM | Starter、Standard、Enterprise | OOBM を実行する場合に、SCS リポジトリからプロファイルおよび認証情報を取り出そうとしたときに、4,000 を超えるデバイスを含んでいても失敗しなくなりました。 |
| HPCA Core:OOBM | Starter、Standard、Enterprise | OOBM を実行する場合のローカライズ サポートとして、誤字、分かり難い文章、未翻訳のメッセージを修正しました。 |

| コンポーネント | エディション | 説明 |
|----------------|-----------------------------|---|
| HPCA Core:OOBM | Starter、Standard、Enterprise | IDE-R/SOL セッション用に設定可能なタイムアウトパラメータを導入したので、ワイヤレス NIC による OOBM IDE-R/SOL のリモート操作が失敗することはもうありません。このパラメータを調整することで、低速のワイヤレス接続や、過度のネットワークトラフィックの集中に対応できます。 |
| Infrastructure | Enterprise | Satellite Server で動作する Messaging Server から Core Server へメッセージを転送したとき、Core Server 上の Messaging Server がメッセージを正しく処理できるようになりました。 |
| Infrastructure | Enterprise | Messaging Server の Core ログファイル中のコードデバッグメッセージは、処理に影響しない状態をレポートするため、警告レベルではなく、デバッグレベルで表示されるようになりました。 |
| Infrastructure | Enterprise | Messaging Server で、タイムスタンプの日時を、正しくグリニッジ標準時 (GMT) に変換できるようになりました。 |
| Infrastructure | Enterprise | 従来の CA コンポーネントではハードコードされていた英文メッセージが、翻訳されてメッセージカタログに登録されました。 |
| Infrastructure | Enterprise | Management Portal のスタンドアロンバージョンが、デバイスの通知を受けたときハングアップしなくなりました。 |
| Infrastructure | Enterprise | Integration Server の起動時に、PVA モジュールが URL アレイのパスワードを読めないことを示す障害は発生しなくなりました。 |

既知の問題

管理者: CSDB editor で文字切れした文字列が見つかる

| | |
|------|--|
| 問題: | 文字切れした文字列は、すべてのロケールで発見されるが、特に欧州言語のロケールで多いです。 |
| 原因: | UI が長いラベルを収容できません。 |
| 回避策: | なし |

Application Self-service Manager: スケジュール ウィンドウの UI フレームが不完全

| | |
|------|--|
| 問題: | Application Self-Service Manager で、配布されるサービスのスケジュールを確認すると、UI フレームの右端が不完全になっています。 |
| 原因: | UI のローカライズが不適切です。 |
| 回避策: | なし |

HPCA Core および Satellite: ドイツ語環境でライセンスの置き換えをするとき、[保存] ボタンが文字切れしている

| | |
|------|---|
| 問題: | [設定] タブの下で、ライセンスの置き換えをすると、ログアウト確認ウィンドウの [保存] ボタンが文字切れしています。この現象はドイツ語環境でのみ発生します。 |
| 原因: | ドイツ語 UI のローカライズが不適切です。 |
| 回避策: | なし |

HPCA Core OOBM: サーバーとクライアントのロケールが異なると、メッセージのロケールが混在する

| | |
|------|--|
| 問題: | サーバーとクライアントのロケールが異なると、OOBM メッセージが両方のロケールで表示されます。ただし、すべての機能は正常に動作します。 |
| 原因: | 設定内に両方のロケールがあるので、OOBM のページのあるものは両方のロケールでメッセージを表示します。 |
| 回避策: | サーバーとクライアントが同じロケールを使用するように設定します。 |

OS Manager: HP Mini Linux Service OS イメージが、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語をサポートしない

| | |
|------|---|
| 問題: | マシンの再起動後、CD ドライブの OS イメージから起動すると、すべてのメッセージが英語で表示されます。 |
| 原因: | OS イメージはローカライズされていません。 |
| 回避策: | なし |

OS Manager: SOS (サービスオペレーティングシステム) および OS Manager System Agent のメッセージのロケールを、ポルトガル語 (ブラジル)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、またはスペイン語に設定できない

| | |
|------|---|
| 問題: | CSDB Editor では、PRIMARY.OS.BEHAVIOR インスタンスの LANG 属性として、米国英語、日本語、簡体中国語、韓国語しか設定できません。 |
| 原因: | LANG 属性を指定するためのドロップダウン リストに、ポルトガル語 (ブラジル)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語のエントリがありません。 |
| 回避策: | <p>PXE 環境では、次のファイルの OS Manager セクションの APPEND 行の LANG パラメータに指定します。</p> <pre>C:\Hewlett-Packard\CM\BootServer\X86PC\UNDI\boot\linux.cfg\default</pre> <p>例: APPEND initrd=rootfs.gz root=/dev/ram0 rw LANG=pt_BR</p> <p>サービス CD-ROM (または DVD) から復元するときは、romsinfo.ini ファイルの ServiceCD セクションの LANG パラメータに指定します。</p> <p>例: LANG=de_DE</p> <p>言語コードは次のとおりです。pt_BR = ポルトガル語 (ブラジル)、fr_FR = フランス語、de_DE = ドイツ語、it_IT = イタリア語、es_ES = スペイン語、zh_CN = 簡体中国語、ja_JP = 日本語、en_US = 米国英語</p> |

Patch Manager: デフォルトの HTTP タイムアウト値が小さすぎる

| | |
|------|---|
| 問題: | デフォルトの HTTP タイムアウト値が小さすぎるので、ベンダー サイトからパッチをダウンロードするとき、2 分以上かかると失敗します。 |
| 原因: | patch.cfg ファイルの HTTP_TIMEOUT パラメータの値が 1200000 に設定されています。 |
| 回避策: | 手動で patch.cfg ファイルの HTTP_TIMEOUT パラメータの値を 3600000 に設定します。この設定ファイルは、<InstallDir>\PatchManager\etc フォルダにあります。 |

USAGE Manager: ナレッジベースのインストールがローカライズされていない

| | |
|------|---|
| 問題: | Usage Manager Administrator およびナレッジベース サーバーの UI 操作で、すべてのエラー メッセージ ボックスの文字列が英語で表示されます。 |
| 原因: | Usage Manager Administrator およびナレッジベース サーバーの UI のエラー メッセージ ボックスの文字列はローカライズされていません。 |
| 回避策: | なし |

サポート

次の HP Software サポート Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

この Web サイトでは、HP Software が提供する製品、サービス、サポートに関するお問い合わせ情報が掲載されています。

HP Software オンライン ソフトウェア サポートでは、お客様がご自身で問題を解決するのに役立つ機能を用意しています。また、ビジネスの運営で求められる、対話型の技術サポート ツールにすばやく効率的にアクセスする方法を用意しております。サポートを受けるお客様は、サポート サイトを使って以下のことができます。

- 関心がある分野のドキュメントの検索
- サポート事例および機能強化リクエストの提出とサポート状況の追跡
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの問い合わせ先の確認
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェア ユーザーとのディスカッションへの参加
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

サポート エリアのほとんどでは、HP Passport ユーザーとして登録し、サインインする必要があります。また、多くの場合、サポート契約も必要になります。

アクセス レベルに関する詳細については、次を参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Passport ID を登録するには、次の URL を参照してください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

法定の通知

サードパーティ ライセンス契約に関する詳細は、製品インストール メディアの License ディレクトリを参照してください。

©Copyright 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

コンピュータ ソフトウェアの機密保持。所有、使用、または複製を行う場合には、HP からの正規のライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従い、商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション、および市販品の技術データは、各販売業者の標準営業許可のもとに米国政府にライセンスされています。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

サードパーティ ライセンス契約に関する詳細は、製品インストールメディアの License ディレクトリを参照してください。

Adobe® および Acrobat® は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

The Apache Software License, Version 1.1

この製品には、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>) が開発したソフトウェアが含まれています。Copyright © 1999-2001 The Apache Software Foundation. All rights reserved.

Linux は、Linus Torvalds の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows® XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

OpenLDAP は、OpenLDAP Foundation の登録商標です。

PREBOOT EXECUTION ENVIRONMENT (PXE) SERVER

Copyright © 1996-1999 Intel Corporation.

TFTP SERVER

Copyright © 1983, 1993

The Regents of the University of California.

OpenLDAP

Copyright 1999-2001 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA.

Portions Copyright © 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2001 The OpenSSLProject.

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

DHTML Calendar

Copyright Mihai Bazon, 2002, 2003

Lab PullParser

Copyright © 2002 The Trustees of Indiana University. All rights reserved.

ソースおよびバイナリ形式での再配布と使用は、修正を加えた場合でも加えない場合でも、以下の条件に合致する場合に提供が許可されます。

- 1) ソースコードのすべての再配布において、上記の著作権表示、オリジナルソースコードにある作者一覧、この条件一覧、およびこのライセンスに示された免責条項を保持すること。
- 2) バイナリ形式でのすべての再配布において、配布時に付属するドキュメントまたはその他の資料に、上記の著作権表示、この条件一覧、およびこのライセンスに示された免責条項を複製すること。
- 3) すべての再配布に含まれるすべてのドキュメントには、次の確認事項を含めること。

「この製品には、Indiana University Extreme! Lab の開発したソフトウェアが含まれます。詳細は <http://www.extreme.indiana.edu/> を参照してください。」または、この確認事項が、ソフトウェア自体に、また、通常、サードパーティの確認事項などが表示される場所に表示されるようにすること。

4) 「Indiana University」および「Indiana University Extreme! Lab」の名称は、Indiana University からの事前の書面による許可なしに、このソフトウェアから派生する製品の保証または宣伝には使用しないこと。書面による許可については、<http://www.extreme.indiana.edu/> にお問い合わせください。

5) このソフトウェアから派生した製品には、Indiana University からの事前の書面による許可なしに、「Indiana University」名を使用すること、および、名前に「Indiana University」が表示されないようにすること。提供したソースコードが、他者の特許その他の知的財産権を侵害していないことに関して、Indiana University が再保証を与えることはありません。その反対に、Indiana University は、知的財産権の侵害に基づく他者からの申し立てを受ける責務を放棄します。